

## 美作国創生公募提案事業 事業成果報告書

- 1 事業名：『まち食！』～「食」を中心とした地域プラットフォーム形成による、新しいまちの力育成プロジェクト～
- 2 実施団体： 特定非営利活動法人 マルイ・エンゲージメントキャピタル  
一般社団法人 データクレイドル
- 3 協働担当課： 地域政策部 地域づくり推進課 市町村連携班
- 4 事業概要

### （目的）

- ・「食」をテーマに、体験交流事業や多様な参加プログラムを通して、生活者視点から地域の課題を明らかにするとともに、移住定住などのように岡山県北に生活の拠点は置かないが、仕事、観光、知人、友人、縁戚等の繋がりを契機に、岡山県北地域に何らかの関係性を持つ「関係人口」に注目。第三者の観点を加味し、課題を可能性に置換して交流人口、定住人口増への契機とする。
- ・新しい事業の創出やまちの魅力を開拓していくプレイヤーを発掘し、豊かで魅力あふれる地域社会の実現に貢献する。

### （事業内容）

- ① 地域に開かれたタウンキッチン『まち食！』の運営、アンケート調査分析
  - ・『まち食！』をベースに、世代や属性を超えて、居住者以外にも通勤、通学、出張等、多様な関係性のタッチポイントとして機能させる。
  - ・『まち食！』及び各連携事業において定量的にアンケート調査を実施。継続的な企画運営に際して効果測定、分析を行う。
  - ・各々の「まちにつながるきっかけ」の集積から、地域の課題解決のための魅力を抽出する。
- ② 地元生産者との連携・商品開発
  - ・真庭市、津山市阿波地区等において、生産者との交流を深め、地域食材を活用した商品開発につながる基盤づくりを行う。
  - ・地域循環や食料廃棄の削減にも繋がるストーリー性を訴求し、圏域内外での持続可能な関係性を構築する。



校・中学)、地域団体(観光、NPO、マスコミ、飲食、運輸流通等)、行政等へ配布【配布数:4200部程度】。

<p>岡山県北・津山市の「ひと」と「カルチャー」を伝えるローカルメディア『Tu』の創刊号。津山市内外の人から人へ、『Tu』が触媒となり、場所や時代を越えてつながり、まちとともに育つメディアとして制作。</p>	<p>『Tu』活用例。『読まれた後に始まる』メディアとして、品物を包む、ブックカバー、街中や部屋のポスターなど用途は様々。</p>

## 6 事業実施による成果、効果、今後の課題

### (1) 成果、効果

#### ①タウンキッチン『まち食!』運営、アンケート調査分析

『まち食!』アンケート調査より、地域の魅力に挙げたものは以下の通り。

- 圏内居住者： 自然や歴史、地域コミュニティとのつながりなど。
- 転出者： 上記に加え、ジビエやホルモンなど圏域特有の食文化など。
- UIターン者： ライフステージのタイミングと子育て環境(自然の豊かさ)、食の豊かさ。

#### 【結果】

「スーパーローカル(ローカルを超えた、ローカル。新しい価値観に基づく地方)」としての提案、実際の暮らしの体験、生産者との直接的なコミュニケーションを提供することなど、体験の質の向上と機会の提供、情報発信の充実により、交流人口および関係人口を経由した移住定住促進の具体的なヒントを得ることが出来た。

## ② 農業者マッチング&交流会

真庭市での循環型農業やエコシステムの一環としての持続可能な農業へのアプローチをテーマにした講演、研修会を実施。生産者とのマッチング交流会により、トマト、ゆず加工品、ねぎ、栗等を扱う生産者（真庭・勝英・美咲・美作地区）との新規契約が成立。販路拡大に貢献出来た。

## ③ 「ローカルコネクトマガジン『Tu』（津山版）」制作・発行

特に若年層、教育関係者からの反響が大きく、地域資源の再編集を契機に地元への関心喚起に繋がっている。都市圏からのUIターン者3名を加えた制作体制が確立。企画運営についても、地元高校生、大学生3名のサポートメンバーも獲得。岡山県産業振興財団を通じて、県南部でも設置配布協力頂き、継続的な発行に弾みがついた。

## (2) 今後の課題

### ①タウンキッチン『まち食！』運営、アンケート調査分析

『まち食！』アンケート結果を踏まえ、平成31年度は交流人口増とプレイヤー育成、生産者とのマッチング、都市部との交流など事業展開へ繋げていく。

### ②農業者マッチング&交流会

平成31年度は既存商品以外に、産官学連携も視野に独自性のある地域商品として商品開発を進めていく。アグリツーリズムの実施も検討する。

### ③ 「ローカルコネクトマガジン『Tu』（津山版）」制作・発行

平成31年度は地元高校生、大学生も編集に関わり、若年層への意識付けを行うとともに、移住定住センター等との連携により、都市部での配布発信により、美作圏域への興味を呼び起こす媒体として継続的に発行する。

※平成31年度、岡山大学・津山高専・NPO法人だっぴ等による連携事業にも活用予定

## 7 県民局と協働した効果及び課題

- ・タウンキッチン『まち食！』運営では、企画周知・告知協力、ランチミーティングと併用した施設利用に加え、『Tu』の設置・配布に協力を頂いた。
- ・全体の事業運営における情報提供や中継をして頂き、事業が円滑に進むようご助言頂いた。